

食品安全委員会の運営について（平成27年10月～12月）

1. 食品安全委員会の開催

10月：第579回～第582回

(1) 食品健康影響評価の要請案件

農薬（8品目）	<ul style="list-style-type: none"> ・スピロテトラマト ・マンデストロビン ・クレトジム ・シメコナゾール ・ニテンピラム ・ピリオフェノン ・プロヒドロジャスモン ・プロフェノホス
農薬及び動物用医薬品（1品目）	<ul style="list-style-type: none"> ・フィプロニル
動物用医薬品（1案件1品目）	<ul style="list-style-type: none"> ・硫酸セフキノムを有効成分とする牛及び豚の注射剤（コバクタン／セファガード） ・動物用ワクチンの添加剤として使用する成分（3成分）
プリオン（2案件）	<ul style="list-style-type: none"> ・イタリアから輸入される牛肉及び牛の内臓について ・飼料用ゼラチン及びコラーゲンに関する規制の見直しについて
遺伝子組換え食品等（4品目）	<ul style="list-style-type: none"> ・NZYM-AV株を利用して生産されたα-アミラーゼ ・PLA-54株を利用して生産されたホスホリパーゼA2 ・ASP595-1株を利用して生産されたフィターゼ ・THR-No.2株を利用して生産されたL-トレオニン
肥料・飼料等（1案件）	普通肥料の公定規格の改正について
飼料添加物（1品目）	<ul style="list-style-type: none"> ・フィターゼ

(2) 食品健康影響評価の結果通知案件

農薬（3品目）	<ul style="list-style-type: none"> ・1, 3-ジクロロプロペン <u>ADIを0.02 mg/kg 体重/日と設定し、ARfDを0.2 mg/kg 体重と設定。</u> ・ヘキサコナゾール <u>ADIを0.0047 mg/kg 体重/日と設定し、ARfDを0.25 mg/kg 体重と設定。</u> ・メパニピリム <u>ADIを0.073 mg/kg 体重/日と設定し、ARfDを4 mg/kg 体</u>
---------	--

	<u>重と設定。</u>
動物用医薬品（1品目）	<ul style="list-style-type: none"> ・イプロニダゾール <u>遺伝毒性を示す可能性を否定することができず、発がん性が示唆されたことから、ADIを設定すべきではないと判断。</u>
器具・容器包装（1品目）	<ul style="list-style-type: none"> ・フタル酸ジイソノニル <u>TDIを0.15mg/kg 体重/日と設定。</u>
遺伝子組換え食品等（2品目）	<ul style="list-style-type: none"> ・CYS-No.1株を利用して生産されたL-システイン塩酸塩 <u>『遺伝子組換え微生物を利用して製造された添加物のうち、アミノ酸等の最終産物が高度に精製された非タンパク質性添加物の安全性評価の考え方』に基づき安全性が確認されたと判断。</u> ・除草剤グリホサート耐性アルファルファJ101系統及び低リグニンアルファルファKK179系統を掛け合わせた品種 <u>『遺伝子組換え食品（種子植物）の安全性評価基準』に基づき評価した結果、ヒトの健康を損なうおそれはないと判断。</u>
肥料・飼料等（1案件）	<ul style="list-style-type: none"> ・普通肥料の公定規格の改正について <u>本件については、既に使用が認められている特殊肥料及び普通肥料を、既に公定規格が定められ一般的に流通している普通肥料の原料として混合し、当該混合物を造粒若しくは成形したものの使用を認めるものである。当品目は、現在ほ場において、他の当該普通肥料の原料と混ぜて使用されている実態と比べても人の健康に及ぼす影響が変わるものではないことから、食品安全基本法第11条第1項第2号の人の健康に及ぼす悪影響の内容及び程度が明らかであるときに該当。</u>

(3) その他

- ・河野大臣による挨拶
- ・食品安全関係情報（8月29日～9月11日収集分、9月12日～10月1日収集分）について報告
- ・「食の安全ダイヤル」に寄せられた質問等（平成27年9月分）について報告

11月：第583回～第585回

(1) 食品健康影響評価の要請案件

添加物（1品目）	・亜セレン酸ナトリウム
農薬（2品目）	・イミダクロプリド ・フェナザキン
飼料添加物（1品目）	・バチルス サブチルス

(2) 食品健康影響評価の結果通知案件

添加物（4品目）	<ul style="list-style-type: none"> ・次亜臭素酸水 <u>5,5-ジメチルヒダントインについては、ADIを1 mg/kg 体重/日と設定。</u> <u>臭化物については、ADIを0.9 mg/kg 体重/日（臭化物イオンとして）と設定。</u> <u>次亜臭素酸水については、添加物として適切に使用される場合、安全性に懸念はないと判断。</u> ・亜セレン酸ナトリウム <u>セレンに関する0か月児～2歳児までの摂取量の上限値を以前の委員会で決定した評価結果と同じ結論とすることとなった。</u> <u>5.9 μg/kg 体重/日（セレンとして）と設定。</u>
農薬（4品目）	<ul style="list-style-type: none"> ・マンデストロビン <u>ADI及びARfDを以前の委員会で決定した評価結果と同じ結論とすることとなった。</u> <u>ADIを0.19 mg/kg 体重/日と設定し、ARfDは設定する必要がないと判断。</u> ・イソピラザム <u>ADIを0.055 mg/kg 体重/日と設定し、ARfDを0.3 mg/kg 体重と設定。</u> ・キノメチオナート <u>ADIを0.0064 mg/kg 体重/日と設定し、ARfDを1.5 mg/kg 体重と設定。</u> ・ビシクロピロン <u>ADIを0.00028 mg/kg 体重/日、妊婦又は妊娠している可能性のある女性に対するARfDを0.01 mg/kg 体重、一般の集団に対するARfDを2 mg/kg 体重と設定。</u>
微生物・ウイルス（1品目）	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒラメの<i>Kudoa septempunctata</i> <u>生産段階において、ヒラメを<i>Kudoa septempunctata</i>に感染させない対策を取ることがヒトのリスクを低減させるためには重要であると考えられた。</u> <u><i>Kudoa septempunctata</i>については、</u>

DALYsの試算結果によると疾病負荷は著しく低いと考えられる。リスク管理機関においては、DALYsの試算結果を前提としつつ、取りうる対策について検討することが望まれる。

(3) その他

- ・松本副大臣・酒井大臣政務官挨拶
- ・平成27年度食品安全確保総合調査の追加課題について決定
- ・食品安全関係情報（10月2日～10月16日収集分、10月17日～10月29日収集分）について報告
- ・平成26年度第2回食品安全モニター課題報告「食品の安全性に関する意識と情報源について」（平成27年2～3月実施）の結果について報告
- ・「食の安全ダイヤル」に寄せられた質問等（平成27年10月分）について報告

12月：第586回～第589回

(1) 食品健康影響評価の要請案件

添加物（1品目）	・ 過酢酸製剤
プリオン（1案件）	・ 牛海綿状脳症（BSE）国内対策の見直しについて
遺伝子組換え食品等（3品目）	・ PEG株を利用して生産されたカルボキシペプチダーゼ ・ GLU-No. 8株を利用して生産されたL-グルタミン酸ナトリウム ・ HIS-No. 2株を利用して生産されたL-ヒスチジン塩酸塩

(2) 食品健康影響評価の結果通知案件等

添加物（9品目）	<p>・ <i>Aspergillus oryzae</i> NZYM-SP株を用いて生産されたアスパラギナーゼ <u>添加物として適切に使用される場合、安全性に懸念がないと考えられ、一日摂取許容量（ADI）を特定する必要はない。</u></p> <p>・ 過酢酸製剤 <u>過酢酸：添加物として適切に使用される場合、安全性に懸念がないと考えられ、ADIを特定する必要はない。</u> <u>1-ヒドロキシエチリデン-1,1-ジホスホン酸：ADIを0.013 mg/kg体重/日と設定。</u> <u>オクタン酸：添加物として適切に使用される場合、安全性に懸念がないと考えられ、ADIを特定する必要はない。</u> <u>酢酸：添加物として適切に使用される場合、安全性に懸念がないと考えられ、ADIを特定する必要はない。</u> <u>過酸化水素：添加物として適切に使用される場合、安全性に懸念がないと考えられ、ADIを特定する必要はない。</u> <u>過酢酸製剤：各成分が添加物として適切に使用される場合、安全性に懸念はない。</u></p> <p>・ 亜塩素酸ナトリウム <u>亜塩素酸イオン：ADIを0.029 mg/kg 体重/日と設定。</u> <u>塩素酸イオン：添加物「亜塩素酸ナトリウム」が添加物として適切に使用される場合、安全性に懸念がない。</u></p>
農薬（6品目）	<p>・ イミシアホス <u>ADIを0.0005 mg/kg 体重/日、ARfDを0.01 mg/kg 体重と設定。</u></p> <p>・ サフルフェナシル <u>ADIを0.009 mg/kg 体重/日、妊婦又は妊娠している可能性のある女性に対するARfDを0.05 mg/kg 体重、一般の集団に対するARfDは設定する必要がないと判断。</u></p> <p>・ シフルメトフェン <u>ADIを0.092 mg/kg 体重/日、ARfDは設定する必要がないと</u></p>

	<p><u>判断。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・チフェンスルフロンメチル <u>ADIを0.0096 mg/kg 体重/日、ARfDを2 mg/kg 体重と設定。</u> ・フルエンスルホン <u>ADIを0.014 mg/kg 体重/日、ARfDを0.33 mg/kg 体重と設定。</u> ・プロチオコナゾール <u>ADIを0.011 mg/kg 体重/日、妊婦又は妊娠している可能性のある女性に対するARfDを0.02 mg/kg 体重、一般の集団に対するARfDを1 mg/kg 体重と設定。</u>
農薬及び動物用医薬品 (1品目)	<ul style="list-style-type: none"> ・アバメクチン <u>一日摂取許容量 (ADI) を0.0006 mg/kg 体重/日、急性参照用量 (ARfD) を0.005 mg/kg 体重と設定する。</u>
動物用医薬品 (1案件)	<ul style="list-style-type: none"> ・ワクチン添加剤 (2成分) <u>動物用ワクチンの添加剤として使用される限りにおいて、人への健康影響は無視できると考えられることから、食品安全基本法 (平成15年法律第48号) 第11条第1項第2号の人の健康に及ぼす悪影響の内容及び程度が明らかであるときに該当すると認められる。</u>
プリオン (1品目)	<ul style="list-style-type: none"> ・スイス及びリヒテンシュタインから輸入される牛肉及び牛の内臓 <u>月齢制限とSRMの範囲について、リスクの差は、あったとしても非常に小さく、人への健康影響は無視できると判断。</u>
遺伝子組換え食品等 (1品目)	<ul style="list-style-type: none"> ・DP-No. 2株を利用して生産されたアスパルテーム <u>『遺伝子組換え微生物を利用して製造された添加物のうち、アミノ酸等の最終産物が高度に精製された非タンパク質性添加物の安全性評価の考え方』に基づき、安全性が確認されたと判断。</u>
いわゆる「健康食品」	<ul style="list-style-type: none"> ・いわゆる「健康食品」に関する報告書 <u>報告書及びメッセージについて、一部修正の上、決定。</u> <u>また、1枚にまとめた「委員長・座長から国民の皆様へ」も、一部修正の上、併せて公表することとなった。</u>

(3) その他

- ・平成28年度食品安全モニターの募集について決定
- ・食品安全関係情報 (10月30日～11月19日収集分、11月20日～12月4日収集分) について報告
- ・「食の安全ダイヤル」に寄せられた質問等 (平成27年11月分) について報告

2. 専門調査会の運営

調査会名	開催回数	調査審議案件	
企画等	1回	<ul style="list-style-type: none"> ・ 専門委員の紹介、専門調査会の運営等及び座長の選出 ・ 平成27年度食品安全委員会運営計画の実施状況の中間報告 ・ 平成27年度食品安全委員会が自ら行う食品健康影響評価の案件候補の選定 	
添加物	2回	<ul style="list-style-type: none"> ・ 専門委員の紹介、専門調査会の運営等及び座長の選出 ・ 過酸化水素 ・ 香料に関する食品健康影響評価指針 	
農薬	幹事会	3回	<ul style="list-style-type: none"> ・ アバメクチン ・ イミシアホス ・ サフルフェナシル ・ シフルメトフェン ・ チフェンスルフロンメチル ・ フルエンスルホン ・ プロチオコナゾール ・ ビシクロピロン ・ チフルザミド ・ フルオピコリド ・ ホセチル ・ レピメクチン ・ イソウロン ・ イソキサチオン ・ シメコナゾール ・ スピロテトラマト ・ ピリオフェノン
	評価第一部会	2回	<ul style="list-style-type: none"> ・ スピロテトラマト ・ チフルザミド ・ プロフェノホス
	評価第二部会	2回	<ul style="list-style-type: none"> ・ レピメクチン ・ フィプロニル
	評価第三部会	2回	<ul style="list-style-type: none"> ・ イソウロン ・ イソキサチオン ・ クレトジム ・ フルオピコリド
	評価第四部会	2回	<ul style="list-style-type: none"> ・ ホセチル ・ シメコナゾール ・ ピリオフェノン
動物用医薬品	2回	<ul style="list-style-type: none"> ・ 専門委員の紹介、専門調査会の運営等及び座長の選出 ・ メチルプレドニゾロン ・ プレドニゾロン ・ ワクチン添加剤 	
器具・容器包装	2回	<ul style="list-style-type: none"> ・ 専門委員の紹介、専門調査会の運営等及び座長の選出 ・ フタル酸ジイソデシル (DIDP) 	

汚染物質等	1回	<ul style="list-style-type: none"> ・ 専門委員の紹介、専門調査会の運営等及び座長の選出 ・ 汚染物質等専門調査会の運営体制
プリオン	2回	<ul style="list-style-type: none"> ・ 座長の選出 ・ イタリアから輸入される牛肉及び牛の内臓 ・ スイス及びリヒテンシュタインから輸入される牛肉及び牛の内臓 ・ めん羊及び山羊の牛海綿状脳症（BSE）対策の見直し ・ 飼料用ゼラチン及びコラーゲンに関する規制の見直し
かび毒・自然毒等	2回	<ul style="list-style-type: none"> ・ 専門委員の紹介、専門調査会の運営等及び座長の選出 ・ フモニシン
遺伝子組換え食品等	4回	<ul style="list-style-type: none"> ・ 専門委員の紹介、専門調査会の運営等及び座長の選出 ・ NZYM-AV株を利用して生産されたα-アミラーゼ ・ PLA-54株を利用して生産されたホスホリパーゼA2 ・ 除草剤グリホサート及びイソキサフルトール耐性ダイズFG72系統（食品・飼料） ・ THR-No. 2株を利用して生産されたL-トレオニン ・ ASP595-1株を利用して生産されたフィターゼ ・ PEG株を利用して生産されたカルボキシペプチダーゼ ・ GLU-No. 8株を利用して生産されたL-グルタミン酸ナトリウム ・ HIS-No. 2株を利用して生産されたL-ヒスチジン塩酸塩
新開発食品	3回	<ul style="list-style-type: none"> ・ 専門委員の紹介、専門調査会の運営等及び座長の選出 ・ レア スウィート
肥料・飼料等	2回	<ul style="list-style-type: none"> ・ 専門委員の紹介、専門調査会の運営等及び座長の選出 ・ アモキシシリン ・ フィターゼ
薬剤耐性菌WG	3回	<ul style="list-style-type: none"> ・ 専門委員の紹介、専門調査会の運営等及び座長の選出 ・ 硫酸セフキノムを有効成分とする牛及び豚の注射剤に係る薬剤耐性菌 ・ 家畜等に使用するバージニアマイシンに係る薬剤耐性菌
いわゆる「健康食品」検討WG	2回	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「健康食品」に関する具体的な論点 ・ 「健康食品」に関する報告書（案） ・ 「健康食品」に関するメッセージ（案）

3. 意見交換会の開催等

(1) 意見交換会（全6回、うち委員0回）

開催日	開催地	意見交換会名	共催団体
10/19	福岡県	食品に関するリスクコミュニケーション－知ろう、考えよう、農薬のこと－	消費者庁 厚生労働省 農林水産省 環境省
11/6	神奈川県	食品に関するリスクコミュニケーション－食品中の放射性物質に対する取組について－	消費者庁 厚生労働省 農林水産省 神奈川県
11/9	埼玉県	食品に関するリスクコミュニケーション－知ろう、考えよう、農薬のこと－	消費者庁 厚生労働省 農林水産省 環境省
11/9	滋賀県	食品安全委員会in大津「学び、感じ理解する」	大津市
11/28	福井県	食品に関するリスクコミュニケーション－食品中の放射性物質に関する理解のために－	消費者庁 厚生労働省 農林水産省 勝山市
12/4	佐賀県	食品安全委員会in佐賀県 栄養教諭や家庭科教諭等を対象とした意見交換会－肉の生食のリスクについて－	佐賀県

(2) 講師派遣（全21回、うち委員7回）

開催日	開催地	講演会名	依頼元
10/1	福島県	食の安全フォーラムinいわき～正しく理解しよう！肉の生食リスク～	いわき市保健所
10/10	東京都	第11回練馬区食の安全・安心シンポジウム	練馬区保健所
10/14	佐賀県	食の安全・安心講習会 *石井委員	佐賀県
10/15	愛知県	急性参照用量（ARfD）に関する話題 *吉田委員	日本農薬学会

10/21	愛知県	食の安全・安心モニター中間講習会	名古屋市
10/21	埼玉県	リスクコミュニケーター研修会 *村田委員	埼玉県
10/28	愛知県	「豊田市ジュニア食品安全ゼミナール」及び「食品の安全性に関する意見交換会」	豊田市保健所
10/28	千葉県	習志野市消費生活講座	習志野市・習志野市消費生活研究会
11/11	岩手県	岩手大学農学部附属動物医学食品安全教育研究センター設立10周年記念講演会 *熊谷委員	岩手大学農学部
11/12	岐阜県	食品の安全・安心シンポジウム *熊谷委員	岐阜県
11/12	長崎県	長崎県ジュニア食品安全教室in波佐見中学校	長崎県
11/15	東京都	科学者委員会・科学と社会委員会合同広報・科学力増進分科会主催シンポジウム *佐藤委員	日本学術会議 科学者委員会・科学と社会委員会合同広報・科学力増進分科会
11/16	東京都	国立医薬品食品衛生研究所特別講演会	国立医薬品衛生研究所
11/17	東京都	輸入果物セミナー	日本青果物輸出入安全推進協会
11/25	滋賀県	食品添加物の安全性と安全確保のしくみについて	滋賀県
11/27	宮城県	食の安全安心セミナー	宮城県
11/28	福岡県	日本環境変異原学会第44回大会 *山添委員	日本環境変異原学会第44回大会
12/2	宮城県	食の安全安心セミナー	宮城県
12/3	高知県	高知市ジュニア食品安全ゼミナール及び意見交換会	高知市保健所
12/3	東京都	食品添加物技術フォーラム	日本食品添加物協会
12/11	大阪府	食品安全ゼミナール	大阪府

(3)「食品を科学するーリスクアナリシス（分析）連続講座ー」

開催日	講座テーマ	講師
10/8	あなどるなかれ食中毒 ～腸管出血性大腸菌やカンピロバクターを中心に～	熊谷委員
11/5	塩と健康 ～あなたの塩分摂取は大丈夫？～	佐藤委員長
12/10	農薬の評価について ～いっぱい食べてしまった!! 農薬摂りすぎ?～	吉田委員

4. 情報提供

(1) Facebook

委員会の活動や食品を通じて健康に被害を及ぼすおそれのある情報、国民の関心が高い食品安全に関する情報についての補足説明等について、機動的な情報提供

■ 10月（13記事）

投稿日	記事内容	閲覧	いいね!	シェア
1	平成28年度食品健康影響評価技術研究課題の公募	1,330	35	1
2	報道関係者との意見交換会(10月2日)	1,597	63	2
6	フランス食品環境労働衛生安全庁(ANSES)との協力覚書の締結	1,673	62	0
8	農薬の急性参照用量(ARfD)の設定に関する国際シンポジウムを開催(10月7日)	2,022	66	1
9	リスクアナリシス(分析)連続講座開催(10月8日)	2,009	66	1
13	抗菌性物質の安全性審査	4,120	92	11
19	欧州食品安全機関(EFSA)開催 第二回科学会議(ミラノ国際博覧会)に出席	1,943	56	1
20	食品の殺菌料	4,588	119	20
22	第581回食品安全委員会 河野内閣府特命担当大臣(消費者及び食品安全)出席・挨拶	2,202	52	1
23	メルマガ【読み物版】食の安全ダイヤルQ&A[1]	2,124	53	1
27	「red meat」と加工肉に関するIARCの発表	30,153	390	223
28	微生物に関する国際シンポジウムの参加者募集	1,870	54	0
30	メルマガ【読み物版】食の安全ダイヤルQ&A[2]	1,686	59	1

■ 1 1 月（6 記事）

投稿日	記事内容	閲覧	いいね!	シェア
4	季刊誌『食品安全』第44号の発行	4,505	135	11
6	リスクアナリシス(分析)連続講座開催(11月5日)	2,619	89	2
1 1	第584回委員会松本副大臣・酒井政務官挨拶	1,655	57	0
2 4	国際専門家招へいプログラム(11月19日)	1,935	64	1
2 6	メルマガ【読物版】ノロウイルス[1]	2,880	92	3
2 7	メルマガ【読物版】ノロウイルス[2]	2,085	75	2

■ 1 2 月（1 2 記事）

投稿日	記事内容	閲覧	いいね!	シェア
1	レッドミートと加工肉に関するIARCの発表についての食品安全委員会の考え方	8,920	160	51
3	ヒラメのクドアの評価(自ら評価)が終了	4,180	105	12
3	報道関係者との意見交換会(12月2日)	1,372	47	1
4	日本環境変異原学会に参加(11月27~28日)	1,330	44	0
8	「健康食品」についてのメッセージ[1]	27,776	313	123
8	「健康食品」についてのメッセージ[2]	8,540	190	49
9	メルマガ【読物版】「健康食品」について	1,604	59	0
1 0	平成28年度食品安全モニター募集	3,840	83	16
1 4	リスクアナリシス(分析)連続講座の開催(10日)	2,414	88	0
2 1	電子ジャーナル(vol13 No4)	1,675	51	2
2 1	カフェイン入りの清涼飲料水	17,641	245	78
2 8	健康食品に関する説明会について	4,924	111	17

(2) ブログ

メールマガジン【読物版】や健康に影響を及ぼすおそれのある危害に関する情報提供

■ 10月（4記事・アクセス数約3,000件/月）

配信日	記事内容
13	抗菌性物質の安全性審査
20	食品の殺菌料
23	メルマガ【読物版】食の安全ダイヤルQ&A[1]
30	メルマガ【読物版】食の安全ダイヤルQ&A[2]

■ 11月（4記事・アクセス数約5,000件/月）

配信日	記事内容
4	「red meat」と加工肉に関するIARCの発表
4	季刊誌『食品安全』第44号の発行
26	メルマガ【読物版】ノロウイルス[1]
27	メルマガ【読物版】ノロウイルス[1]

■ 12月（5記事・アクセス数約4,300件/月）

配信日	記事内容
1	レッドミートと加工肉に関するIARCの発表についての食品安全委員会の考え方
8	「健康食品」についてのメッセージ[1]
8	「健康食品」についてのメッセージ[2]
9	メルマガ【読物版】「健康食品」について
10	平成28年度食品安全モニター募集

(3) メールマガジン【読物版】(約1万人に配信)

実生活に役立つ食品安全に関する情報を分かりやすく解説した情報等の提供

配信月	配信記事	記事内容
10	食の安全ダイヤルQ&A	当委員会の「食の安全ダイヤル」に寄せられた質問の中から、問い合わせの多いものや関心が高いと思われるものについて紹介(トランス脂肪酸、食品添加物、ノロウイルスなど)
11	ノロウイルス	ノロウイルスの基本情報などについて紹介
12	「健康食品」について	「健康食品」についての報告書及び国民向けのメッセージの内容の紹介

(注) 各種の数字は、平成27年12月末日現在のデータである。